

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月19日

栃木県知事  
福田 富一 様

提出者

住所 栃木県 足利市 小俣南町 2番地  
氏名 株式会社 キリウ  
代表取締役 武岡 一満  
電話番号 0284-62-2321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 キリウ
事業場の所在地	栃木県 足利市 小俣南町 2番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	自動車部分品・付属品製造業 [3113]
②事業の規模	製造品出荷額等 21,801百万円/年
③従業員数	548名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4のとおり		

②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3のとおり t	
	(今後実施する予定の取組) 別紙4のとおり		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

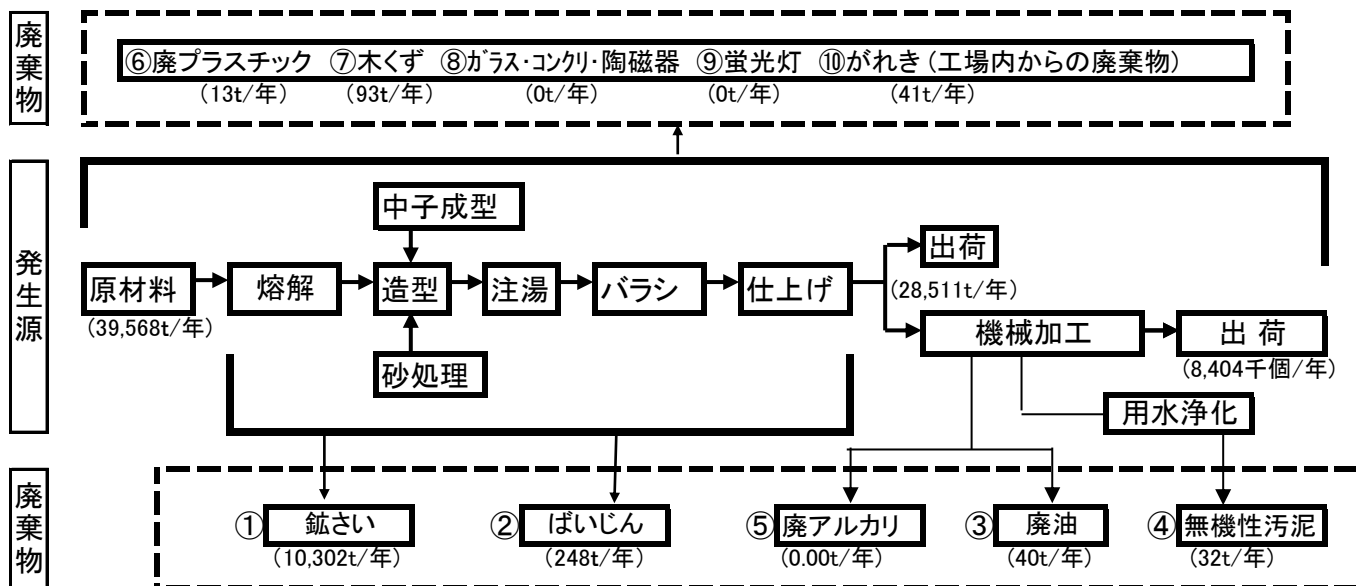


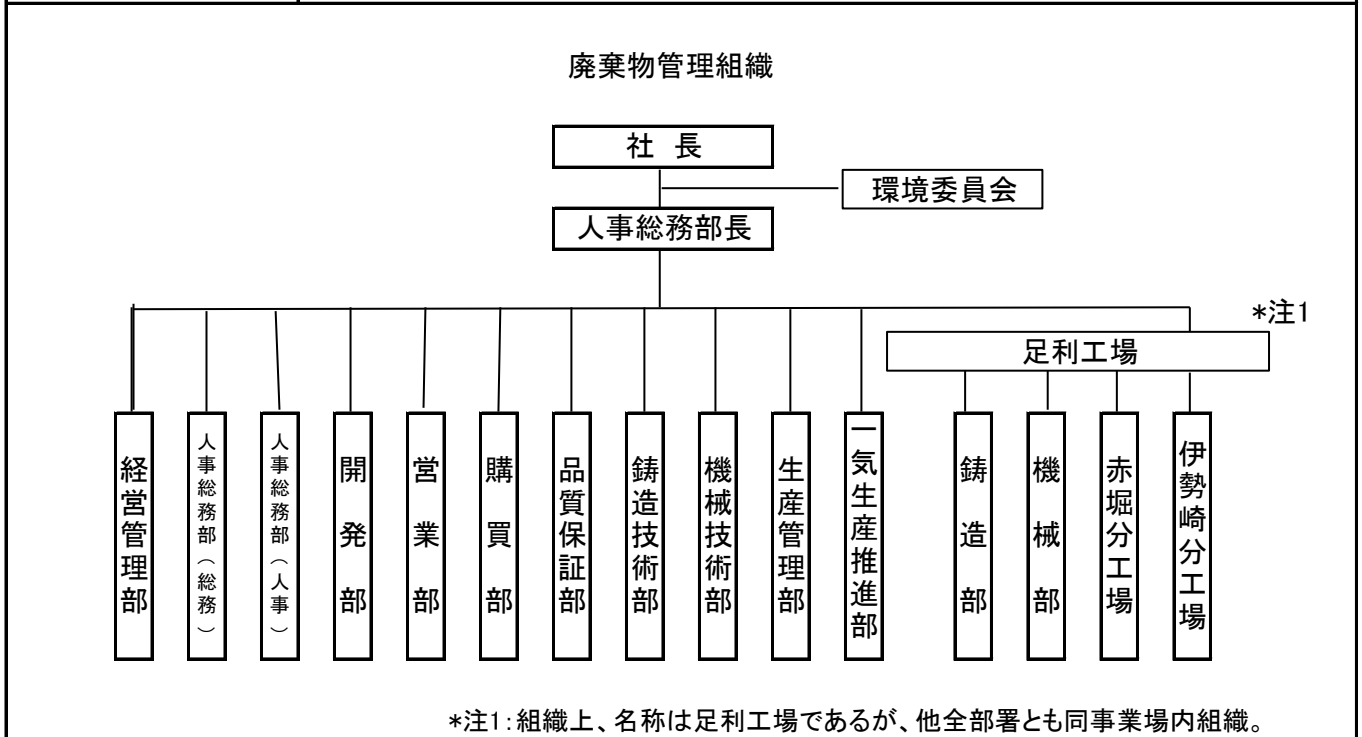
表3 産業廃棄物の種類別発生・処理状況(令和2年度実績)

廃棄物の種類	発生源	・性状	発生量 (基準量) t/年 [構成比]	処理方法(現状の工程)	
				-凡例-	(中): 中間処理 (最): 最終処分 ○: 自己処理 ●: 委託処理
① 鋳さい	鑄造工程	・粉状	10,302 [92.7%]	破碎(中)●	→ 路盤材料として再利用● (4,405t/年)
② ばいじん			248 [0.38%]	焙焼(中)●	→ 再生砂として再利用● (5,673t/年) → セメント材料として再利用● (112t/年)
③ 廃油	加工工程	・液状 油水混合 (水分約90%)	40 [0.33%]	油水分離(中)●	→ 水分(蒸発) (36t/年) → 燃料として再利用● (4t/年)
④ 汚泥	加工工程	・泥状 (水分約70%)	32 [0.26%]	油水分離(中)●	→ 水分(蒸発) (22t/年) → セメント材料として再利用● (10t/年)
⑥ 廃プラスチック	事業場全体	・固形	13 [0.14%]	燃料(熱源)●	(13t/年)
⑦ 木くず	事業場全体	・固形	93 [0.48%]	燃料(熱源)●	(93t/年)
⑧ ガラス・コンクリート 陶磁器くず	事業場全体	・固形	0.0 [0.007%]	破碎等(最)●	(0t/年)
⑨ 蛍光灯	事業場全体	・固形	0.0 [0.002%]	水銀加熱回収●	(0t/年)
⑧ がれき	事業場全体	・固形	1 [0.00%]	埋立(安定型)(最)●	(1t/年)
	鑄造工程		40 [0.00%]	粉碎等(中)●	→ 路盤材料等に再利用● (40t/年)

<産業廃棄物の処理に係わる管理体制に関する事項>

管理体制図

統括責任者	(株)キリウ 職名： 人事総務部長
廃棄物担当 (専任無し)	組織名： 人事総務部(総務) 組織人数： 15 人
環境委員会	キリウ環境マネジメントシステムに基づき、環境方針・目標を決定 廃棄物の発生抑制やリサイクルを含む環境活動計画全般を推進する
廃棄物処理 統括責任者 (総務部長)	「産業廃棄物基準」を定め廃棄物に関する法令遵守・適正処理を行う ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物置き場の管理 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物管理表の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項







## 2022年度実績及び2023年度目標値

※自動計算

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処分の区分	鋳さい		ばいじん		廃油		汚泥		廃プラスチック		木くず		ガラスくず・コンク リートくず及び陶磁 器くず		蛍光灯※		がれき類	
	実績(t) (2022年度)	目標(t) (2023年度)	実績(t) (2022年度)	目標(t) (2023年度)	実績(t) (2022年度)	目標(t) (2023年度)	実績(t) (2022年度)	目標(t) (2023年度)	実績(t) (2022年度)	目標(t) (2023年度)	実績(t) (2022年度)	目標(t) (2023年度)	実績(t) (2022年度)	目標(t) (2023年度)	実績(t) (2022年度)	目標(t) (2023年度)	実績(t) (2022年度)	目標(t) (2023年度)
排出量	10,302	10,277	248	223	40	38	32	31	13	11	93	91	0	0	0	0	41	0
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は 海洋投入処分量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	10,302	10,277	248	223	40	38	32	31	13	11	93	91	0	0	0	0	41	0
優良認定処理業者への 処理委託量	0	0	0	0	40	38	32	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
再生利用業者への 処理委託量	10,302	10,277	248	223	40	38	32	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	13	11	93	91	0	0	0	0	0	0

★コメントが有れば入力

※LED化工事実施

## 〈産業廃棄物の抑制に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
鋳さい	生産性向上(不良率削減、歩留向上 等)により産廃原単位を下げる。	現状取組みの継続。
ばいじん	生産性向上(不良率削減、歩留向上 等)により産廃原単位を下げる。	現状取組みの継続。
廃油	生産性向上(不良率削減、歩留向上 等)により産廃原単位を下げる。	現状取組みの継続。
汚泥	生産性向上(不良率削減、歩留向上 等)により産廃原単位を下げる。	現状取組みの継続。
廃プラ	梱包資材、方法の見直しにより、総量を削減する。	現状取組みの継続。
木くず	梱包資材、方法の見直しにより、総量を削減する。	現状取組みの継続。
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	(3t程度であり、工事等による突発的・一時的な発生)	-
がれき類	保持炉改修に伴う長周期的発生(30t程度・1回/3年)	-

## 〈産業廃棄物の分別に関する事項〉

	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組
鋳さい	再生、再資源化に応じた適性分別の実施。	現状取組みの継続。
ばいじん	再生、再資源化に応じた適性分別の実施。	現状取組みの継続。
廃油	(発生は限定されており、分別の必要なし。)	-
汚泥	(発生は限定されており、分別の必要なし。)	-
廃プラ	(発生は限定されており、分別の必要なし。)	-
木くず	(発生は限定されており、分別の必要なし。)	-
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	(発生は限定されており、分別の必要なし。)	-
がれき類	(発生は限定されており、分別の必要なし。)	-

〈自ら行う産業廃棄物の中間処理〉

該当なし

〈自ら行う埋立海洋投入処分〉

該当なし

〈自ら行う産業廃棄物の再生利用〉

該当なし

## 〈産業廃棄物の処理の委託に関する事項〉

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
鋳さい	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。
ばいじん	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。
廃油	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。
汚泥	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。
廃プラ	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。
木くず	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。
がれき類	再生、再資源化に応じた適性な委託の実施。	現状取組みの継続。